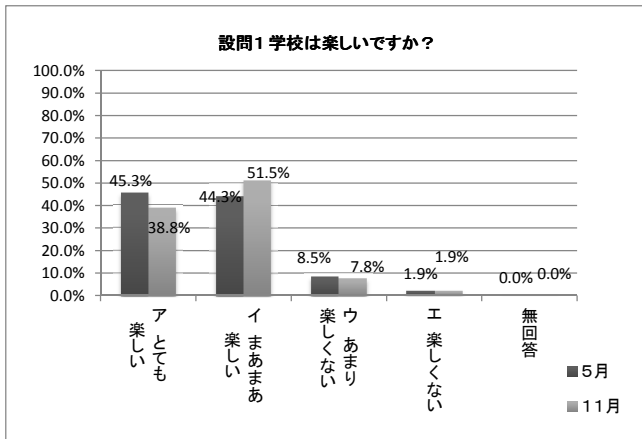
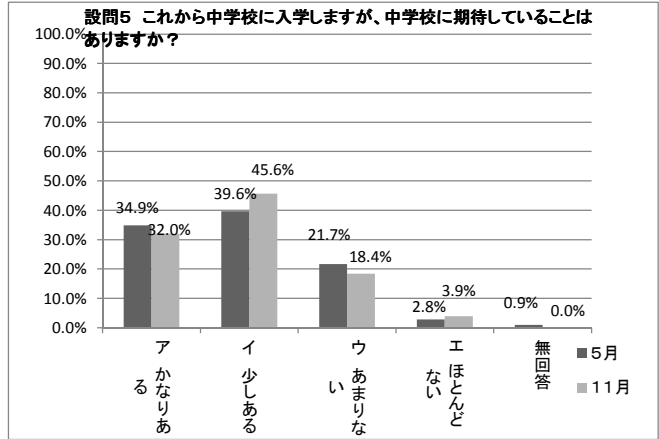


神原小・壺屋小11月実施アンケート結果

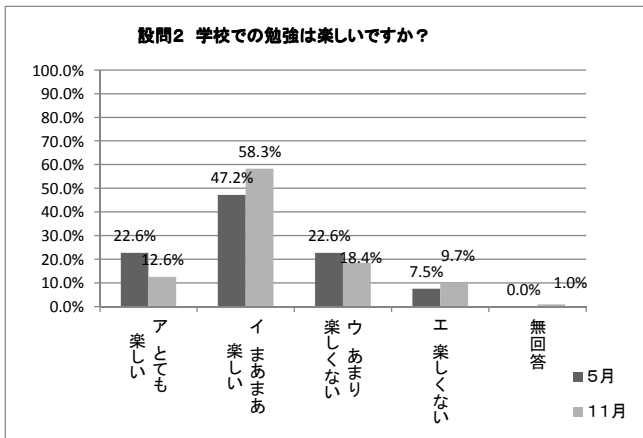
(total 今回103人 前回106人)



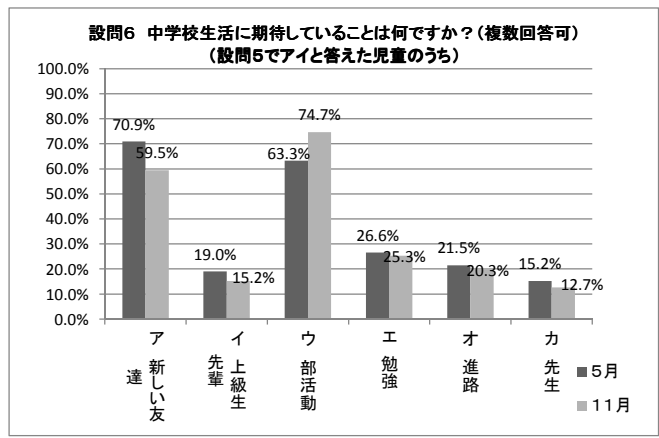
「とても楽しい」、「まあまあ楽しい」が約90%を占めており、学校が好きという印象が伺える。



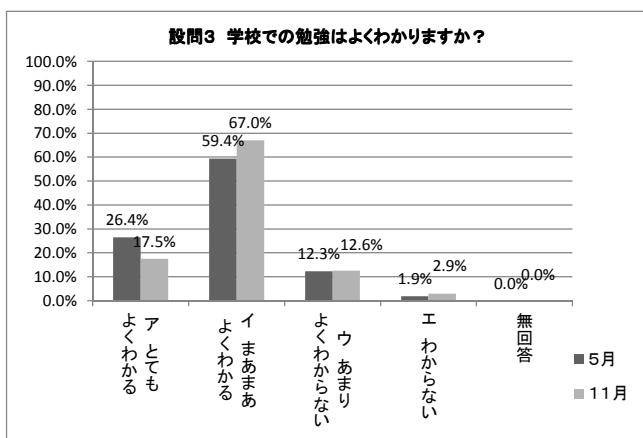
大半が中学校に何らかの期待をしていることがわかる。



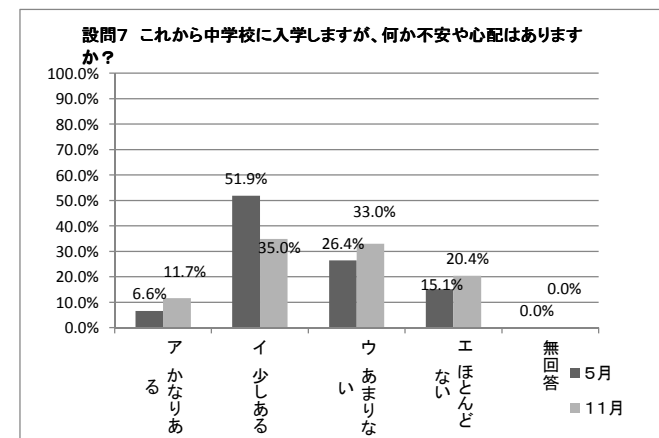
「とても楽しい」が減少し、「まあまあ楽しい」が増になっている。また、「楽しくない」が若干、増になっている。学校の学習が難しくなってきたと考えられる。



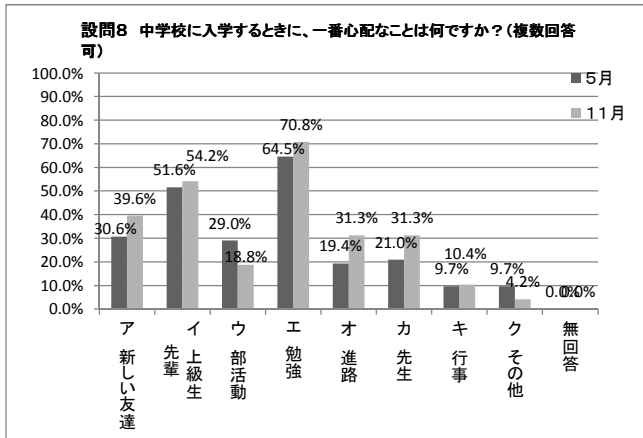
「新しい友達」や「部活動」に期待が大きいことが伺える。小学校でも部活動に参加している児童の割合が多いことが影響していると考えられる。



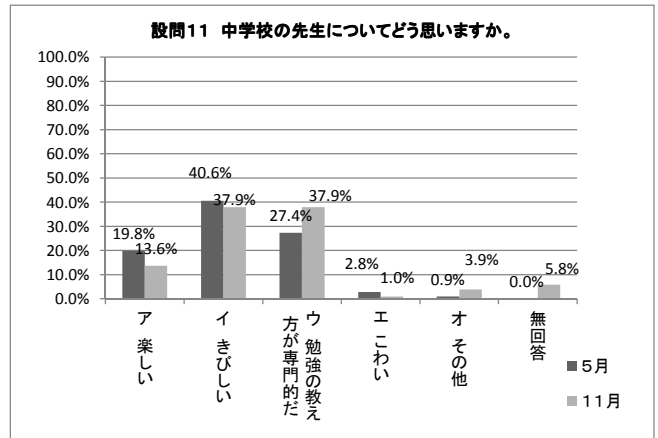
学校での勉強は8割がわかっている。



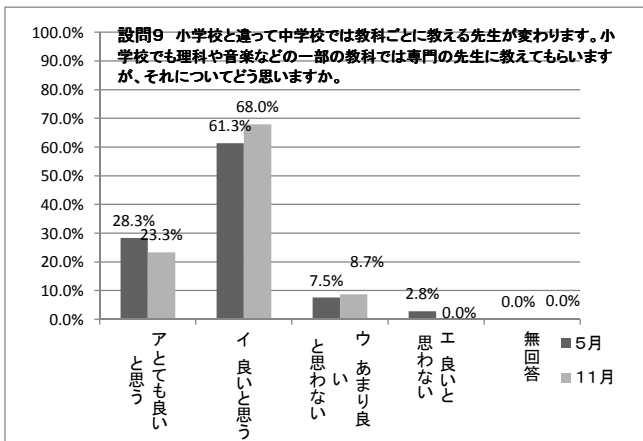
11月で「かなりある」が増になっているのが気になるところである。「少しある」が減少し、「あまりない」「ほとんどない」が増になっていることから、中学校との生徒、教師間の交流が功を奏していると考えられる。



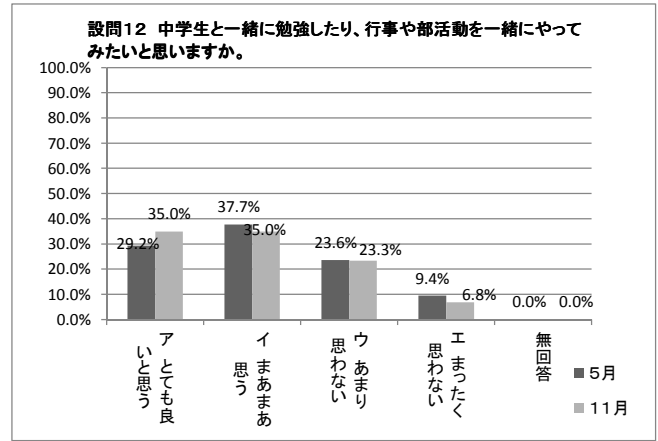
全体的に「勉強」や「先輩」のことが心配していることが伺える。



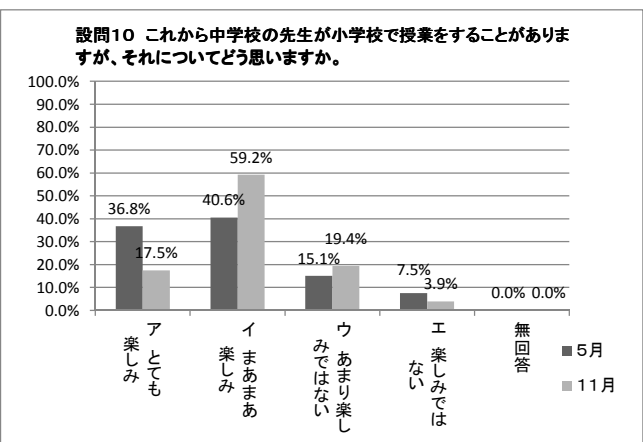
「勉強の教え方が専門的だ」が増えている。実際に中学校の教師の理科と算数の授業を受け、子どもたちが感じた結果が如実に表れている。



一部教科担任制は、9割の子が良いと思っていることが伺える。



「とても良いと思う」のが若干ではあるが増えている。日頃から、挨拶運動や、児童会交流、学習成果発表会の見学、合唱コンクールの見学など、交流の機会が増え、その良さを感じていると思われる。



「とても楽しい」が減り、「あまり楽しみではない」が増になっているのは残念だが、大方は楽しみにしていることが伺える。